

海外進出ステップアッププログラム「セミナーD実施レポート」

11月10日に第4回目となるセミナー「海外で求められるキャラクター、ストーリーの作り方」をオンラインにて開催いたしました。ピッチ、バイブルに関する講義の第2弾ということで、今回は特にピッチについて、海外企業に作品を売り込むために必要なこと、キャラクターやストーリーをどのように作り、どのようにその魅力を伝えるのかを解説する講義となりました。

セミナーD「海外で求められるキャラクター、ストーリーの作り方」講演内容ご紹介

グイダ合同会社 プロデューサー / カルチャーコネクト代表 風早 完次氏
「ストーリーとキャラクター 作りこみの重要性:海外展開に向けて」

- セミナーCでは、海外展開に向けてバイブルを作成してピッチをすることが必要であり、特にバイブルをどのように作っていくかという内容までを紹介いただきましたが、本セミナーでは、練り上げた企画をどのように相手に伝えるか、という観点でピッチに関する講演をいただきました。
- ピッチについては、10分ピッチや3分ピッチにおいても、作品の核になるユニークなキャラクターとストーリーが大事であり、相手のニーズを汲み取りながら、視聴者やターゲット等も見据えて、キャラクターとストーリーの魅力を伝えることが重要であることを解説いただきました。



10分ピッチの時間配分例

- ・ 15-30秒：自己紹介
- ・ 15-30秒：作品概要説明
- ・ 7-8分程度：ストーリー(ログライン、あらすじ、作品の流れ(数話のあらすじなど)を含む)、キャラクター紹介、(あれば予告編映像)
- ・ 15-30秒：世界観のビジュアル紹介
- ・ 30秒程度：製作チーム紹介
- ・ 30秒程度：その他補足情報(原作・放送・商品化実績など)とコンタクト情報

ピッチ時間の70-80%はストーリーとキャラクター紹介

風早氏によるセミナーの様子

ライター プロデューサー 鮎貝 義家氏
「海外メジャー&共同制作に向けたピッチ」



海外メジャー&共同制作に向けたピッチ

テーマ：海外で求められるキャラクター、ストーリーの作り方

見せ方の参考

- セミナー後半では、鮎貝 義家氏に、ピッチをするにあたって重要なことを説明いただきました。
- 講師自身のピッチ映像を見ながら、ピッチバイブルに必要な要素(タイトル、ログライン、ターゲット、シノプシス等)それぞれについて見せ方や表現の仕方、伝える際に盛り込むべき情報を整理していただきました。
- 特にピッチバイブルの作り方については、自身の作品、誰もが知っている人気の作品、サンプル作品等を例にして非常にわかりやすく解説いただきましたし、貴重なノウハウを数多く伝授いただきました。
- また、実際にピッチをする相手の属性ごとに、それぞれどのような特徴があり、契約によってどのようなメリットやデメリットがあるのかといった点についても解説いただきました。

鮎貝氏によるセミナーの様子